



内子座 藝於遊



内子座保存修理工事の取材

令和8年1月27日、内子座保存修理工事の工事監理を担っていただいている公益財団法人文化財建造物保存技術協会 辻田さんが愛媛新聞社の取材を受けられました。愛媛新聞社は創刊150周年ということで、令和7年から愛媛県内20市町の特集を月替わりで実施しており、令和8年2月は内子町の月。その特集の一つに内子座保存修理工事を選んでいただき、1月に入り、工事に携わる方々が取材を受けられました。



■ 1月8日 現場代理人 谷岡さん取材風景 (写真左上)

某番組のアポなし取材も受けていただくなど、このかわら版でも写真登場回数 NO.1 で、既にご存じの方も多と思われる谷岡さん。辻田さんと日々やりとりをしながら、現場が滞りなく作業が進むようすべてに気を配り、段取りをし、かつ自身も作業にあたるというマルチプレーをされています。



■ 1月20日 瓦職人 金岡さん取材風景 (写真左中)

瓦解体工事を引き受け、昨年9月末からの瓦解体と調査をリードされた金岡さん。ご自身の工場を案内していただきながらの取材となりました。すべての瓦の打音検査も実施された金岡さん。この紙面ではお伝えしきれませんが、本当にスゴ技でした！ 今後、補足瓦の製作や瓦復旧でもお世話になります。



■ 1月22日 左官職人 市兼さん取材風景 (写真左下)

昨年は壁解体工事にあたっていただいた、文化財修理では欠かすことのできない左官職人の市兼さんです。保存地区内にある重要文化財 上芳我邸にて取材を受けいただきました。上芳我邸の保存修理でも活躍された市兼さん。技術を残すことの難しさについても語っていただきました。

取材の取材をさせていただき本当に感謝しております。ありがとうございました！ 印象深いのが、みなさん、同じようにおっしゃられた「保存修理工事が終わった時に“どこを修理したん？”と言われるのが目標」ということ。プロ意識を勉強させていただきました。改めてお礼申し上げます。取材されている風景ということで、微妙な写真ばかりの掲載ですみません。取材させていただいた愛媛新聞社さんもありありがとうございました！